

福祉保健生活環境委員会 県外所管事務調査の概要

◆調査日程 平成28年10月20日(木)～10月21日(金)

◆調査先・調査内容

①宮崎県立宮崎病院精神医療センター(宮崎市北高松町)

調査内容：県立精神科の運営等について

本県においては、精神保健福祉法で義務づけられている県立の精神科が設置されておらず、夜間・休日における医療保護入院の体制確保が課題となっている。

そこで、県では、現在、検討委員会によりまとめられた県立精神科基本構想に基づき、県立精神科設置に向けた検討を進めている。

宮崎県立宮崎病院精神医療センターは、県立富養園と既存の県立病院精神科を閉鎖・統合し平成21年に開設した。規模(病床数42床)及び役割(救急・急性期と身体合併症治療を中心とした精神科医療)において、本県が設置を検討している県立精神科と類似しており、今後の本県における検討の参考とするため、県立病院精神科の運営実態や抱える課題等を調査した。

<主な質疑等>

- ・身体合併症治療時の身体科との連携について
- ・看護師確保の取り組みや採用後の配置状況について



②霧島ジオパーク(宮崎県えびの市末永、鹿児島県霧島市霧島田口ほか)

調査内容：霧島ジオパークの取り組みについて

霧島ジオパークでは、えびのエコミュージアムセンターを拠点施設として、霧島山周辺の5市1町(鹿児島県霧島市、曾於市、宮崎県都城市、小林市、えびの市、高原町)で組織する霧島ジオパーク推進連絡協議会が中心となり、観光協会やジオガイド等と連携し実施するジオツアーや子ども火山スクールなどを通じて住民や観光客に対し霧島山地域の地質遺産の美しさを発信するとともに、悲願であるユネスコの世界ジオパーク認定を目指している。

本県でも、豊後大野、姫島の両地域が、日本ジオパークの再認定を平成29年に控えており、全国に先駆けて認定された先進地の取り組み内容及びジオサイトの調査を行った。

<主な質疑等>

- ・日本ジオパーク認定の効果と世界ジオパーク認定に向けた課題について
- ・新燃岳噴火による影響等について

